

# スキンシップ・ skinship note ノート



for adult

# スキンシップ・ skinship note ノート



## まえがき

こんにちは、「東\*南\*東」の米ですー。

今回でオフでは7冊目、コピー含めると11冊目です。  
…ひがし、11冊出しといて全てが蒼星石っていう辺り、我ながら凄いですね（妄想ガ）。

さてさて、今回の本はいつもと違う感じにしてみました。  
半端にカラーにすんならいいよ前半の漫画にも色塗れよって感じですが  
面倒くさが…まゝこういうのも雑誌みたいでいいよね！自己満足！

この本が出る頃には蒼星石のSRDXが出てくる頃ですわー。  
自分ほる体予約を入れたので、何方の間違いガなければ3人の蒼ガお嫁に来ます。  
ポーズや出来に不安は残りますガ楽しみますよー。  
嫁入り前にお部屋の掃除しないと！いや蒼ガしてくれるからそのままいいかな？  
あっそうだ！台所に踏み台があるよね！小さい包丁も！ほうじ茶も買ってあげないと！  
寝相悪いから腕枕の時落とさないガ心配だなゝー大丈夫かなゝー（日課の妄想お疲れ様です）

あ、あと、イベント限定の双子フィギュアにも予約入れたからもっと来るな…  
最終的に何人の蒼ガおうちに来るんだろうガ（把握しろよ）。  
って言うガ誰にあげる訳でもないのに買すぎだな。

いつもそうですが、今回は一段と清々しいほど原作を無視しきっているのて  
原作>妄想 の方は止めといた方がいいかもしれません…。  
妄想>原作って言うガ蒼ならSでもMでも何でもいいてす先生…蒼になら踏みたいてす… という  
私同様、妄想世界の住人の方はお付き合い下さると幸いです。

まゝそんな訳で本文へドソ。  
今回のテーマはラブです。ある意味毎回ラブだけとな。



蒼星石  
：いくよ

はっはっ...

うん.....

スキンシップ・ノート



ひあ...

はっはっ

あ.....!

はあ...っ

ん.....っ

はっはっ

はっはっ

はっはっ

はっはっ

マスタ... ああっ



ほく…もつと  
マスターと気持ちよく  
なりたいな…



だから…  
…ね?

……

あ…



ああもうっ！

がが

なんでこんなに  
可愛いかなあっ!?



…あつ  
ちよ…っ

せゅ

ましたあつ

せゅ

せゅ



あ…あ…あ…?  
き、きゆうに  
うごかな…!!

だって蒼が  
可愛いのが  
いけないんだもーん

だつ

あ…

ほっ!ほくは  
可愛くなんかな…

可愛いよ

あ

あつ

あつ









あーん

あーん……

ひうっ

さっさっ

さっさっ

あーん



ますたあ……

ますた……ああっ！

ひうっ

きちやうっ

キュ

いっばいきもちいの  
きちや……よおっ

あーん

きもち……いのっ  
きもち……

蒼……っ  
蒼……っ！

さっさっ

あーん



僕は、ローゼンメイデン  
第4ドール「蒼星石」

：初めまして  
貴方が新しい  
マスターですか？

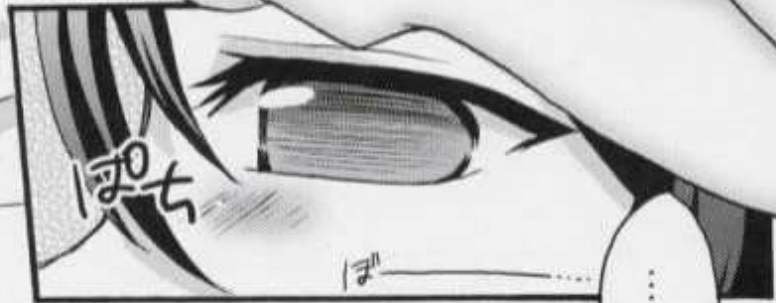


あんなにクールだった  
(ように見えた)  
この子が

こんな甘えっ子になるとは  
思わなかったなあ…



…ま



……



無意識。

ん…

きっとこういうのを  
幸せって  
言うんだらうなあ…

## あとがき

ここまで読んで頂きありがとうございます……嘘です。まだ半分。  
まだちょっとだけ続くんじゅー（見りゃ分かるよ）  
ですがP 数的に後書き入れられるのがこのなので、ここでさよならマーチです。  
サーラバイバイサーラバイ。また次の本でー。  
そ、そろそろ門が閉まっちゃうよ！魔王が来る！お父さん、すぐそこに魔王の娘が！

…さて、次のページからは、パラパラ漫画というガエロゲというガSS 付きイラストというガ  
まゝそんな感じのが延々と続きます。  
こういうの好きなので一度やってみたかった。どんな感じになるかなあー。  
漫画と違うのて見るのタルイかもしれないが、描いた私の方がもっとタルかったのて  
我慢して下さい。（いや、そのりくつはあがしい）

カラーだと塗る手間があるから毎回は出来ないけど、いつか漫画でもやってみたいですね。

今回お手伝いして下さいなまーすさん、こんさまたん  
本当にありがとうございますー！ラブ！！蒼星石の次に愛してる！

さて恒例の嘘次回予告ー。  
多分「蒼色ドロップス」みたいになりそうな気がします。  
早い話が特に考えてn……ゲフ！ゲフン！！  
ほ、ほらアレだ、甘い感じですよ。ラブ&メイクラブ&ピロートークみたいな。  
んてほ！



蒼「え…！その、今日も、するの……？」  
•「蒼星石はするの、嫌？」  
蒼「え、い、嫌じゃな…けど…でも…」  
•「嫌じゃないなら問題ないよね。さ、しようか♪」

• 「ほら、まずは上脱いで」  
蒼 「う、うん……」  
照れながら、こんな場だというのに脱いだ服を  
一つ一つ丁寧に畳む辺りが、蒼星石らしいと言うべきか。





•「ほら、ズボン脱ぎぬぎするから、少し腰浮かせて」  
蒼「ズッ、ズボン位なら自分で脱げるから…っ！その…」  
•「その？」  
蒼「そ、そんなに見られると…恥ずかしいよ……」



・「じゃ、穿いたままでいいから足でおちんちん擦ってみて？」

蒼「う、うん…ご、ごう…かな？」

ただたどしい足使いでこすこすとペニスを擦り上げる。不慣れゆえの拙さが心地よい強弱となり、先走るカウパーとざらざらしたニーソックスの布地の手触りが混じりあい、ペニスを確実に快感へ誘う。



蒼「んっ…んくっ……ふむっ…」  
ドールの口には少し大きすぎる人間のペニス。それを口いっぱいを含み  
アイスクャンディーのように必死でちゅばちゅばとしゃぶる姿に更なる興奮を憶える。  
蒼「んうっ…ふあ…っ…ちゅばっ…」



どびゅっ！どぶどびゅっ！！  
小さな口と小さな手のたどたどしい愛撫に耐えていた自分自身だが  
我慢の限界が来たようだ。ダムが決壊したように蒼星石の顔と手を  
どぶどぶと溢れ返るザーメンで白く汚していく。  
蒼「んっ、んあぁっ……！あつ…よおっ！」



・「蒼星石は、おっばいとおまんこ、どっちが気持ちいい？」

蒼「あっ！やっ…ふやあ…っ…！」

・「おっばい触っただけなのに、おまんこヌルヌルだね。」

・「おまんこいっぱい触ったらどうなっちゃうのかな、ねえ蒼星石？」

蒼「ひうっ！あっ！ああっ！！」



\*「ほら、分かる？…蒼星石のせいでおちんちん、こんなだよ」

蒼「…あ…すご……おおき…ね…」

\*「これが蒼星石の中に入って、おまんこぐちょぐちょにするんだよ、分かる？」

蒼「う、うん…分かる…よ……あ、あぁっ！」

言いながらペニスをぬるっとした膣回にあてがい、挿入を始める。



蒼「ひ…あああっ！あう…っ！んあっ…！」

先程までの愛撫で濡れそぼった膣内は、多少抵抗しつつも子宮口まで深く、ペニスを受け入れる。膣壁は絡みつくようにペニスをぎゅうぎゅうと締め付けて逃がさない。

\*「すご…！ぬるぬるで…ちっちゃいナカに今すぐ出ちやいそう…！」

蒼「あ…ああうっ…！おまんこ…いっぱいだよお…」





蒼「あっ！あっん！あうっ…！」  
蒼星石のおまんこと俺のペニスが擦れ合い、絡み、結合部から  
ぐちゅっ、ぬちゅっと湿った音が断続的に響く。  
膣壁や子宮口を強く擦り上げる度、引き摺ったようにビクビクと身体を震えさせる。  
蒼「ひあぁっ！いあぁっ！あぁ…っ！」

蒼「ああー…っ！あはあっ！んああー…ん！」  
ペニスとおまんこ、互いの性器からヌルヌルと溢れる体液で擦れ合い  
確実に高めあった快感を解き放す瞬間を今か今かと待ちわびている。

・「は…っ、んっ、蒼、出すよ…！」

蒼「あ…っ！あ！あっあああーっ！！ああううああっ！！」

どくっ！びゆるっ！びゆくびゆくっ！

子宮の奥まで叩きつけるように、ザーメンを何度も何度も膣に吐き出す。



行為の後、荒げた息が落ち着くまで、互いにきつく抱きしめあった。

蒼「はあ…っ、もう、えっちなんだから……。…でも、たいすき…」



→は、この本と同時に発行した  
蒼星石抱き枕のイラストです。  
折角なので載せておきますー。



## スキンシップ・ノート

発行日：2006. 11. 4  
発行：東\*南\*東

連絡先

<http://marie.saiin.net/~s-e-e/>  
[maittingu@hotmail.com](mailto:maittingu@hotmail.com)

無断転載、複製を禁じます



スキンシップ・  
skinship note  
ノート

東\*南\*東  
for adult